

# SOWER

ソア=種まく人

No.46  
April 2019  
一般財団法人  
日本聖書協会

特集 **変わらない言葉を変わりゆく世界に**  
31年ぶり新翻訳『聖書 聖書協会共同訳』完成



SOWER  
ソア  
No. 46

2019年4月1日発行  
年1回発行

発行・一般財団法人 日本聖書協会

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル  
電話 03-3567-1988 FAX 03-3567-4451  
振替 00160218410

## 礼拝にふさわしい聖書を —31年ぶり、<sup>ゼロ</sup>から翻訳した新しい聖書

**聖書 聖書協会共同訳**  
中型(B6判) 引照・注付き

■日本における聖書頒布のバイオニアとして143年の歴史を持つ日本聖書協会。とりわけ1987年に発行した新共同訳聖書は、全国の8割強のキリスト教会・学校で用いられています。その新共同訳に続き、次世代の標準となる日本語聖書を目指して翻訳された「聖書協会共同訳」が、ついに完成しました。今回も、カトリックとプロテスタント諸教会の支援と協力による共同の翻訳事業です。そして聖書協会世界連盟という世界最大の聖書翻訳のネットワークによる研究成果と、国内の優秀な聖書学者・日本語の専門家によって翻訳されました。

全国の書店にて  
絶賛発売中



**聖書 聖書協会共同訳**  
旧約聖書統編付き 引照・注付き  
SIO43DC

●中型(B6判)／本文7ポイント  
●クロス装・ハードカバー ●ジャケット掛け  
●巻末付録：度量衡および通貨、新約聖書における旧約聖書からの引用箇所一覧表、旧約聖書 章・節対照表、用語解説(143語)、聖書について、聖書地図(カラー12葉)

2,448ページ  
定価(本体6,100円+税)

**発売記念価格 本体5,400円+税**  
ISBN978-4-8202-1342-0

**聖書 聖書協会共同訳**  
引照・注付き  
SIO43

(判型、仕様、巻末付録は、旧約聖書統編付きと共通)

2,032ページ  
定価(本体5,300円+税)

**発売記念価格 本体4,800円+税**  
ISBN978-4-8202-1341-3

※発売記念価格は、初刷のみの特価となります。  
※初刷は特別に薄くしなやかな本文紙を使用し、スリムな仕上がりとします。  
※※カバー・デザインは制作途中のものです。

動植物、宝石、建造物などの名称は、聖書の動物学、植物学、考古学などの発展により、より正確になっています。



ガゼル(旧:かもしか) クミン(旧:ういきょう) 箕(注に「農用フォーク」) 搾り場(旧:酒ぶね) ばった(旧:いなご)

巻末の聖書地図はフルカラーで、12葉。新共同訳にはなかった以下の時代の地図が加わりました。

- アッシリア帝国と新バビロニア帝国 (前9～6世紀)
- ペルシア帝国(前550～330年)
- ローマ帝国の拡張(前27～後180年)



ペルシア帝国 (前550～330年)



ローマ帝国の拡張 (前27～後180年)

**JBS 日本聖書協会**

■翻訳・発行：一般財団法人日本聖書協会  
■お問い合わせ：日本聖書協会頒布部 TEL:03-3567-1987  
〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル

翻訳に関する  
詳しい情報は  
Webへ



<http://www.bible.or.jp/>



### シナイの真珠レフィデイル

民が、レフィデイルに宿営したとき、喉が渴いて死にそうだとモーセに不平を訴える。神は、「私が立った岩を杖で打て。そこから水が出る」と言われ、民は飲むことができた(出一七章)。現在の場所には、ワジ・フラインというシナイ半島一の美しいオアシスで「シナイの真珠」と讃えられています。二キロにわたる谷に沿ってナツメヤシが茂り、ベドウインの人たちが山羊や羊を飼って暮らしています。撮影アングルを探す私に人懐こい男の子が歩いて来ました。

オアシスをめぐって、アマレクとの争奪戦が起こります。丘の上でモーセが手を挙げていたときは、イスラエルが勝ち、手を下ろすとアマレクが優勢になる。両側から二人で支えて日没まで戦って勝利する。神はこのことを文書に書き記して記念せよと命じられました。聖書で初めて文字について触れられた箇所です。

一九〇五年に世界最古のアルファベットのと言われる「シナイ文字」が、ここから四〇キロほど北で発見されたのですが、この聖書の箇所と何か関係があるのでしょうか。

やがてシナイ山に到着したイスラエルの民に「十戒」が、石の板に文字が記されて授けられたのです。

## 巻頭 聖句

私はあなたを忘れない。  
見よ、私はあなたを手のひらに刻みつけた。

(イザヤ書49章15、16節 聖書協会共同訳)

国境を越えて移動する人の数は増加の一途をたどり、いのちの危険にさらされたり、いのちの尊厳を奪われるような状況に追い込まれる人も少なくありません。国境のコントロールは厳しさを増し、異質な存在を危険視したり排除したりする傾向も普通に見られる時代となりました。決して一人一人の存在を忘れることのない神は、すべてのいのちが例外なく大切であることを、人としてのご自分の存在をもって示されたのです。

### 菊地 功

さくち ぐんお  
カトリック東京教区大司教、日本聖書協会理事

## CONTENTS

SOWER No. 46 2019

2 ソア46号発行によせて  
BS NEWS 渡部 信

3 特集  
変わらない言葉  
変わりゆく世界に  
～31年ぶり新翻訳  
『聖書 聖書協会共同訳』完成～  
編集部

新翻訳事業の始まりから完成までの道のり 渡部 信  
座談会『聖書 聖書協会共同訳』を翻訳して  
阿部 包 飯 謙 春日いづみ 吉田 新  
特別寄稿 鈴木佳秀 岡田武夫

12 人物と聖書⑩ 鈴木範久  
童心のみなもと 竹久夢二と聖書

15 JBS情報  
イベント情報  
聖書事業懇談会(大阪・東京)

16 エッセー④ Migiwa  
痛みを通して与えられた賛美

18 KBH(クリスチャンセンター神戸パイブル・ハウス)情報

20 点字聖書(聖書協会共同訳版)  
製作支援・新翻訳事業献金  
皆さまからのご支援を求めています

21 第4回聖書動画コンテスト募集要項

### 表紙の言葉

今回の表紙は、銀座教文館です。聖書館とは各フロアを共有していて、キリスト教書の品揃えは全国屈指。明治18年、アメリカ宣教師の出版活動の拠点として教文館は始まりました。それから100年を超える歳月、常に新しくお洒落な銀座の街中に、変わらぬたたずまいで、今日も営業を続けています。(絵・文=佐藤百合子)



変わらない言葉を  
礼拝にふさわしい聖書を—

変わりゆく世界に  
31年ぶり、初めて翻訳した新しい聖書



(上) 2019年2月22日銀座教会の奉献式／(左上) 2018年12月3日に開かれた共同記者会見／(左下) 教文館キリスト教書部で発売された聖書協会共同訳

特集

# 変わらない言葉を変わりゆく世界に 31年ぶり新翻訳『聖書 聖書協会共同訳』完成

2018年12月、ついに『聖書 聖書協会共同訳』が発行されました。

今号では新翻訳事業の経過報告とともに、新翻訳事業に携わってこられた様々な立場の方々による、新しい聖書によせる期待をご紹介します。——編集部

一九六九年、日本聖書翻訳研究会が組織され、その学究的成果を残すため、研究誌『聖書翻訳研究』No.1～33が、一九七〇年から二〇一四年まで

年まで「共同訳聖書委員会」、以後は事務局。しかし、翻訳方針の変更などに伴う訳語、訳文の未調整部分が課題として残りました。

なお、共同訳聖書出版の準備のために、一九六九年、日本聖書翻訳研究会が組織され、その学究的成果を残すため、研究誌『聖書翻訳研究』No.1～33が、一九七〇年から二〇一四年まで

一九八七年、『聖書 新共同訳』が発行されました。新共同訳は、カトリック教会とプロテスタント教会が、初めて共同で翻訳を完成したもので、日本のキリスト教史に新しい時代を築き、エキュメニズム(教会一致運動)を体現する画期的事業でした。しかし、当時、翻訳方針を巡っては紆余曲折がありました。動的等価(意識)理論に基づいて翻訳した『新約聖書 共同訳』(一九七八年)は、諸教会から採用に否定的な声が寄せられました。その結果、翻訳方針を逐語訳へと見直したのが『聖書 新共同訳』です。完成までには一八年の歳月を要しました。新共同訳は、読者からの指摘を検討し、訂正作業を続けました。(二〇一〇年まで「共同訳聖書委員会」、以後は事務局)。しかし、翻訳方針の変更などに伴う訳語、訳文の未調整部分が課題として残りました。

新翻訳事業の始まりから  
完成までの道のり

日本聖書協会総主事 渡部 信

## I. 準備期間(二〇〇三—二〇一〇)

## ソア46号発行によせて

2018年度は、新しい聖書協会の事業として、オンライン・ニュースメディア「クリスチャン・プレス(www.christianpress.jp)」(毎日更新)が6月に発足しました。日本のキリスト教界のニュース・話題ばかりでなく、米国の「クリスチャニティ・トゥデイ」と提携し、海外のキリスト教界ニュースを日本語で配信する働きも兼ねたものです。毎日の聖書の御言葉が掲載され、すべて無料でお読みいただけます。ぜひ、クリスチャン・プレスを検索してご覧ください。

また2018年12月には、待望の新しい日本語訳聖書「聖書協会共同訳」が準備に8年、翻訳作業に8年の歳月をかけて完成いたしました。「スコボス理論」を採用して翻訳された、礼拝にふさわしい、また読者に理解しやすい聖書です。これは18のキリスト教派・団体の共同作業であり、「新共同訳」に次ぐ、エキューメンカルな聖書となります。ぜひお手にとっていただければと思います。

その他、2019年1月より、日本聖書協会は一般財団法人キリスト教視聴覚センターと合併し、幼児・子供向けのキリスト教教育教材制作、教師向けの研修会などの分野にも力を注いで行くことになりました。どうぞ従来通り、「キリスト教視聴覚センター(AVACO)」としてご利用くだされば幸いです。

2019度は、渡部の総主事としての退任に伴い、副総主事の具志堅聖が次期総主事として働きを引き継ぐことになりました。これからも皆様方のお祈りとご支援をよろしくお願い申し上げます。



一般財団法人 日本聖書協会

総主事 渡部 信  
わたべ まこと

## BS NEWS

### 母語教材を通じて聖書普及に 取り組むボリビア聖書協会

南アメリカは、最もキリスト教人口の増加が著しい地域として、現在、世界の聖書協会の間でその取り組みが注目されています。その一つに母語による聖書頒布の普及があります。また各部族語への翻訳、識字教育によって、すべての人々が聖書を読めるようになることを目指す活動の成果が順調に現れております。

今年2月、ボリビア聖書協会を訪れました。ボリビアはスペイン語、ケチュア語、アイマラ語を中心に36の先住民言語が用いられていますが、公用語はスペイン語、ケチュア語、アイマラ語、グアラニー語の四つです。この四つの言語の翻訳聖書がある中で、私たちは今年度、アイマラ語の識字向上プログラムとして、子供向けの聖書教材の頒布を支援することにしました。一番の裾野にある少数部族、そし



ボリビア聖書協会の書店



聖書配達用のトラック

ボリビアの一人当たりの年収は非常に少なく約40万円。青少年の犯罪率も高く、これらの若者に対する伝道が積極的に行われなければなりません。こうした取り組みによって、キリスト教人口が増え続けることができるならば、それは私たちの喜びでもあります。これからも皆様のお祈りとご支援をお願い申し上げます。

発行されました。

**再度の共同訳聖書の翻訳への試み**

次世代の翻訳聖書には、その準備と作業で、最短でも一五年位かかると想定されました。前もって最新の翻訳理論を研究し、堅固な基礎の上に新しい翻訳事業を開始しなければなりません。その調査のため、二〇〇三年、新しい聖書翻訳の成功事例をもつ、スウェーデン聖書協会（六月）とオランダ聖書協会（一〇月）を訪れ、翻訳理論と作業プロセスを学び、日本聖書協会内で検討しました。そして二〇〇五年、聖書の原語専門の職員三名を採用して翻訳部を新設、本格的に新翻訳事業の準備を開始しました。その経過は以下の通りです。

**新翻訳の準備としての講演会・聖書翻訳ワークショップ**

・国際聖書フォーラムの開催（二〇〇六年五月・海外講師八名、二〇〇七年六月・海外講師五名）。

・聖書翻訳ワークショップの開催（二〇〇八年三月・海外講師一名、国内講師三名）。

**新翻訳の準備としての翻訳懇談会**

・理事、評議員による翻訳懇談会を開催。第一回（二〇〇七年三月）、第二回（二〇〇七年一〇月）、第三回（二〇〇八年三月）。

**新翻訳の準備としての諮問会議**

・新翻訳に向けて共同訳事業推進計画諮問会議

年三月・裾野市）、第九回（二〇一七年八月・那須町）

また、翻訳者による研究誌『New 聖書翻訳』No.1〜5（二〇一四〜二〇一九）を発行しました。**聖書本文の確定と発行に向かつて**

合宿の他、本文朗読チェック、編集委員会での本文検討、日本語と使用漢字のチェック、訳語の統一性チェック、外部モニターによるチェックと、様々な作業が行われました。これらのプロセスを経て、二〇一五年二月より、完成前の翻訳文を「パイロット版」として公開、一般読者からの意見を募集し、更なる聖書本文の推敲に努めました。

最終翻訳原稿は、二〇一八年二月から組版を開始、初版は、引照・注付きの聖書としました。二〇一八年二月、日本聖書協合理事会での出版承認を経て、一二月、『聖書 聖書協会共同訳』が完成し、発行されました。

最後に、新翻訳事業が一六年の歳月をかけて、完成に至ったことを主に感謝すると共に、そのため労してくださった翻訳関係者、ご意見をくださった全ての方々、支援と祈りをもって助けてくださった全ての人々に感謝します。二〇一九年二月二日、日本基督教団銀座教会にて感謝の奉獻礼拝を行いました。主に捧げられた『聖書 聖書協会共同訳』を通して、日本の方々が聖書の御言葉に触れ、福音のメッセージが全ての人々に届きますようにお祈りしたいと思います。

を開催。第一回（二〇〇八年一〇月）、第二回（二〇〇九年三月）、第三回（二〇〇九年五月）オランダ聖書協会の成功事例を参考に「翻訳方針前文」を採択、第四回（二〇〇九年一〇月）理事、評議員との協議会を開催。

**新翻訳事業開始の決議と作業開始**

・日本聖書協合理事会、評議員会（二〇〇九年二月）「翻訳方針前文」に基づき翻訳事業開始を決議。

・日本カトリック司教協議会臨時総会（二〇一〇年二月）新翻訳の共同事業を決議。

このように、実際の翻訳作業に入るための準備に八年間を費やしました。そして、対象や目的を予め選択し、適切な翻訳方針を決定していく、オランダ聖書協会の「スコポス理論」を採用する方針を固めました。その唱道者ローレンス・デ・ヴリース氏を講演のため二回日本へ招聘しました。その結果、諮問会議に議員を派遣くださった一八の教派と団体が、新しい翻訳方針を検討、賛同されたことにより、実際の翻訳作業が二〇一〇年から開始されることとなります。

**II. 翻訳期間（二〇一〇〜二〇一八）**

**翻訳者への講習会**

翻訳者は各教派、諸教会から推薦をいただき、原語担当者は聖書学者、日本語担当者は文学、国語学の専門家、翻訳家、詩人、歌人など、幅

広いジャンルから招きました。翻訳者には「パラテキスト」（後述）講習を行いました。

・第一回オリエンテーション（二〇一〇年八月・アルカディア市ヶ谷、翻訳者二六名）を開催。以後二〇一六年まで随時、個別オリエンテーションを開催。

・翻訳者全体会議（二〇一一年八月の三日間・ヴィラフォンテーヌ沙留）開催。この会議が事実上の共同訳作業の開始。旧約部会、詩編部会、続編部会、新約部会、日本語部会が形成される。

**翻訳作業を促進するための合宿と研究誌**

今回の翻訳作業には、聖書協会世界連盟が開発した聖書翻訳支援ソフト「パラテキスト」が用いられました。即座に原語、主要翻訳、過去の邦訳、翻訳用注解書などを参照できるソフトです。それにより複数の翻訳者が訳文を検討する翻訳者委員会は、大幅な効率化と時間短縮が可能になりました。さらに、翻訳者委員会の集中開催のため、修道会が経営する黙想の家を利用して以下の翻訳者委員会合宿を開催しました。

・第一回（二〇一三年九月・軽井沢町）、第二回（二〇一四年三月・世田谷区）、第三回（二〇一四年八月・裾野市）、第四回（二〇一五年三月・鎌倉市）、第五回（二〇一五年八月・那須町）、第六回（二〇一六年三月・裾野市）、第七回（二〇一六年九月・裾野市）、第八回（二〇一七

**次期総主事 具志堅聖氏のご紹介**

2019年度の5月以降には、現在の具志堅副総主事が次期総主事として就任いたします。具志堅副総主事は、2年前までハワイにあるマキキ聖城キリスト教会の日本語部牧師として伝道・牧会に従事し、2017年9月に日本聖書協会へ副総主事として招聘されました。

沖縄県出身で、2011年まで日本福音同盟（JEA）総主事として日本の諸教会のためにご尽力された方です。どうぞよろしくお願ひします。



**キリスト教視聴覚センター（AVACO）のご紹介**

一般財団法人キリスト教視聴覚センターは2019年1月1日をもって一般財団法人日本聖書協会と合併いたしました。AVACOの名称で親しまれた働きはそのまま継続され、幼児・子供向けのキリスト教教育教材、講習会、またメディア・録音関係の仕事も、日本聖書協会と連携しながら活動を進めて参ります。ホール、会議室の貸し出しも行ってあります。グループ会社による録音、撮影業務でも、皆さまのご用にお応えしたいと思います。ぜひお気軽にご相談ください。



169-0051  
東京都新宿区西早稲田2-3-18  
電話  
03-3203-4121

**オンラインキリスト教ニュース**

インターネットでクリスチャンプレスと検索してご覧ください。トップページを開くと毎日更新される聖書の言葉がポップアップ表示されます。日本聖書協会デジタルメディア部が運営しています。[www.christianpress.jp](http://www.christianpress.jp)



▲スマートフォンから



## 『聖書 聖書協会共同訳』を翻訳して

座談会



(2018年12月7日、日本聖書協会にて)

ご出席者 (五十音順)

## 阿部 包

藤女子大学特任教授・名誉教授、  
同大学キリスト教文化研究所所長、  
新約編集委員会翻訳者兼編集委員

## 飯 謙

神戸女学院院長、神戸女学院大学教授、  
詩書・預言書編集委員会翻訳者兼編集委員

## 春日いづみ

歌人、日本歌人クラブ中央幹事、現代歌人協会会員、  
詩書・預言書編集委員会翻訳者兼編集委員

## 吉田 新

東北学院大学文学部総合人文学科准教授、  
続編編集委員会翻訳者兼編集委員

司会 島先克臣 日本聖書協会編集部主事補

飯 「翻訳をゼロからやる」ということをどう解釈するか。わたしは当初、新共同訳と全く違う訳語を選ばないといけないと思込んでいたんですね。けれども、パラテキストを見ることによって、先輩方のご苦労を感じ取り、それをあつらへる程度尊重して引き継ぐ必要性、その線上に立ちたいとする、歴史に参与する思いを学ばせてい

## 翻訳作業に携わって

島先 まず、作業とか、会議とか、ご自分の翻訳したプロセスでも、いちばんの思い出になっているものを一言。

阿部 新約の部分で、スカイプ導入になったでしょう。それで、わたしの場合はパートナーが東京の芳賀繁浩先生じゃないですか。スカイプをつないで、パラテキストで毎週金曜日の夜九時から一コマずつ、ずっとやっただけです。それがいちばん思い出に残っていますね。彼は、ギリシア語もできるから、日本語担当ではないような突っ込んだ議論もいろいろできて。それからやはり、合宿が楽しかったですね。

吉田 今回、スコボス理論という新しい翻訳理論を採用したことは、成功であったと個人的には思います。具体的な作業の中で迷ったとき、最終的な着地点が明確に示されたというのが大きかったです。初期の段階から日本語担当者として原語担当が密に連携して訳文を進めていったのが今回の翻訳の特徴のひとつです。それは新共同訳の聖書翻訳にはなかった作業過程です。この初期の段階でも議論がありました。おそろしく最も議論したのは翻訳者委員会だったと思います。そのときに、朗読した際、どのように聞こえるか、教会で読まれるときにふさわしい訳語は何かといったような議論の着地点が明確にあったので、そこに落とし込んでいくという

ただいたと考えています。聖書学に携わる人には時として、可能性を追求するあまり奇抜と思える訳を試み、個性を際立たせようとする傾向がある。自分のことです。しかしこの翻訳事業を通して、歴史の中に立つというスタンスをよく理解させられたと感謝しています。

それから、合宿はたいへん印象深く思い出されます。一緒に翻訳する人と人格的な相互理解の中で進めていくことができた。毎朝の礼拝の時間でも、その方の人となりとか、個人史を知ることが許され、ああ、こういう思いで聖書に向かっているのかと。聖書への理解を深める大切な時間にもなりました。単に仲間どうしでやったという意味ではなくて、適度な緊張関係もありました。互いに相互理解に努めようとする良質な共同体の中で生み出された聖書だということ、これを読まれる皆さんにもお伝えしたいと思います。

吉田 わたしは「聖書協会共同訳」は、「共同訳」というところがいちばん重要で、この聖書翻訳はいわゆる教会一致運動の一つの結実だと思っ

作業はやりやすかったと思いますね。

春日 最初に島先さんから「美しい日本語、礼拝にふさわしい、格調の高い日本語」そして「日本文化に影響を与えるほどの」と褒められて。 (笑) それは、やはり日本語で表現するものにとって、とても魅力的な言葉で、力を尽くしたいと思いました。

思い出は沢山ありますが、原語の先生方からヘブライ語の文法や釈義を伺ったことは貴重な体験でした。日本語についての意見も真摯に受け止めてくださり、大いなるものに向かつて共同作業をしている感覚でした。一言一句にこだわりました。編集会議のときに接続詞一語で一時間かかったことがあるんですよ。サタンが主を唆すところ(ヨブ記二章五節)。

島先 ああ、五節冒頭に「しかし」をつけるかどうかという…。

春日 そうそう「しかし」、出来上がったものを見ると接続詞はないのです。「さあ」、「だが」「しかし」など相応しい言葉を探しましたが、議論の末、別訳に載せようということではなくなりました。今読んでみると自然に読めるけれど、十数人が頭を突き合わせ一時間話し合った結果なのです。すべての箇所にもこのようなことがあって、翻訳者委員会にしても編集委員会にしても、おろそかではない熱い時間を過ごしたと思います。

イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りを献げてそれを裂き、言われました。『これは、あなたがたのための私の体である。』(一コリ一・二三、二四)という…。プロテスタントにとってもカトリックにとっても重要なテキストですが、この訳文を議論したときに、じゃあ、これで大丈夫かという話し合いをしたときに、神父さんにミサの所作をしてもらい、確かめてもらおうと言って、後ろで旧約かなにか訳していた神父さんにやっても良かったんですよ。これでいいかどうか。そういうことは普段では議論できない。まさにエキューニズムだなどそのとき感じました。やはり合宿というのがすごく濃密な時間だった。朝の祈りから始まり、翻訳に取り組み、一緒にご飯を食べて、寝て、また朝の祈りから始まる。あれは聖書翻訳というよりはむしろやはり教会一致運動の一つの重要な交わりだった。それが各人に持ち帰られていくという感想を持ちました。

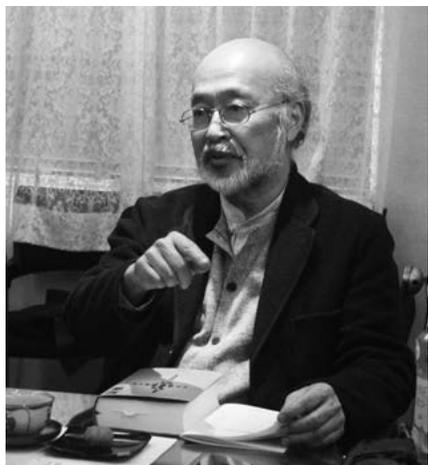
## 困難をどう乗り越えたか

島先 今度はずしこし話題を変えまして、困難をどういうふう乗り越えたか、大変だったところに焦点を当てていきたいと思うんですけれども。

阿部 やっぱりピステイニス問題ですよ。かなり遅くまで続いた議論だったと思う。初めの頃

※1 翻訳者が用いた聖書翻訳支援ソフト

※2 スコボス(目的・対象)を予め設定し、それに応じて適切な翻訳方針を決定していくという考え



阿部 包氏

は、新約部会、訳語検討会とか、そういうレベルでは「信実」というのが圧倒的多数なんですよ。その頃もわたしは「信仰」で行くべきだという言い方をしていた。最終的に「真実」ということにした。ただ、そうすると、ロマ書でどこまでを「真実」、どこからを「信仰」と訳さなきゃならないという問題が起きるんです。今回、日本語だけで読むとわりとすんなり読めちゃう。(笑) この部分については非常に長い議論をしたけれども、もしかすると一般読者からはそんなに意見はないのかもしれない。ただ、「イエス・キリストの真実」ってどんな意味？というのなかなか分からないかもしれませんね。

**島先** これは牧師先生方がやっぱりロマ書全体の神学から釈義していくしかないですよ。

**阿部** 脚注が付いたこと。引照の情報だけではなくて、直訳だとか、異読もあって、必要などころでは分かる。読むときに便利だし、長すぎないのがいい。

**吉田** わたしは一九七八年生まれで、共同訳聖書が出版された年と同じです。ですから、わたしにとって聖書は新共同訳なんです。新しく生まれてくる子どもにとって、聖書協会共同訳が彼、彼女らの聖書になります。つまり、この聖書は次のジェネレーションの聖書になります。聖書を次のジェネレーションに渡すという、大きな仕事に携われたと思いました。新しく生まれてくる子どもにとっての聖書はこれなんだという…。

**春日** 絞れませんが、箴言は寸鉄詩のように歯切れよくなっていると思います。コヘレトの冒



春日いづみ氏

**阿部** わたしは基本的に、イエス・キリストのピステイスが人を義とする尺度だと思う。わたしたちの信仰はわたしたちを義としないんですよ。

**島先** なるほど。

**阿部** ここでたぶん、信仰理解が分かれるところだと思う。

**吉田** 続編ですね。続編の担当を任せられたときに、これは大変なことを引き受けてしまったと思つて、相当自分の身を削ることになる覚悟しました。続編のテキストは本当に難しく、新共同訳の続編の翻訳作業は偉大だったということ

とが、まず、今回の作業の中で分かりました。また、現在、世界的に続編の研究が相当進んでいるんですね。これらの研究とやはり同じレベルで立ち向かっていく翻訳は必要になると思われました。続編の翻訳者、及び日本語担当者の中でプロテスタントは半分近くいらっしやいますよね。そういう意味では、とてもエキキュメンカルな作業だったと思います。日本の翻訳史上、続編の翻訳はとても大きな業績だったと思います。続編を通して新約を見ないといけないというところを、本当に強く思いました。旧約と新約をつなぐ接続点がヘレニズム時代のユダヤ教であつて、そこからイエスが生まれ、そしてパウロが生まれていったという感じになっています



吉田 新氏

頭も「空しい」が「空」になりましたけれど、意味が限定されず、解釈が広がります。それから夫婦の「楽しみ」というのが「人生を見つめよ」(九九)に変わりましたね。

**島先** あれは今までの、外国の訳にもない、全く新しい訳なんです。

**春日** コヘレト三章の「生まれるに時があり、死ぬに時がある」(コヘ三二)というところもリズムが揃い、暗唱などしやすくなったのではないのでしょうか。情景、状況が読むだけで、聞くだけで目に浮かぶ箇所が増えたように思います。この翻訳の時間を多くの祈りが支えてくれた。合宿中も修道院のシスターの方が祈ってくさいました。そして聖霊が確かに働いていたと感じています。

**島先** シュナイダー神父様が、「聖書翻訳は神



飯 謙氏

よね。

**春日** 私は詩文を担当しました。特に詩編はカトリックではミサや教会の祈り(聖務日課)で毎日歌い、または唱えるので、リズムやひびきが自然で、心にすっと入ってくるようにと心掛けました。聖書は縦書きですので、パラテキストを縦書きにプリントアウトをして、声に出して読むことを心掛けました。目に触れた印象も、言葉のひびきも大切ですから。翻訳の最終段階に近づいたがって、書全体を通して読むようにしました。そのためには誰にも邪魔されない時間が必要で、合宿はとても有難かったです。

### 聖書協会共同訳への期待

**島先** それでは最後に、「ここが押し」と「期待すること」を一言ずつ。

の業です。祈りによって進めるものです」というメッセージを残してください。

**飯** 新共同訳はすこし説明的な表現が多かったのに対して、今回はやはり簡明になったと思います。言い切りとか、リズムのよさ。説明的でないぶん、読者自身が解釈する余地が広がった点、これは祈りを導くものとなります。聖書は、元来は巻物で部分的な朗読が中心でしたが、やがて製本されて通読のための書となりました。テキストを思い巡らせる空間が広がった。わたしは詩文をやらせてもらいましたが、ここは一息に読んでいくという、段落を示唆する工夫もできたのかなど。一つのユニットを区切りで読んで、その中の最初の言葉のつながりや差異を、比べるなどして、聖書との新たな出会いをしていただけるのではないかなと期待しております。

**島先** 今日はありがとうございました。

司会、島先



※3ピステイス・クリストゥは「キリストの真実」とも訳し得るかという問題

# 新しく出版された 聖書協会共同訳の魅力



鈴木佳秀

すずき よしひで／  
フエリス女学院学院長、  
五書・歴史書編集委員会 編集委員

今回新たに出版された聖書協会共同訳には、聖書学関係者はもちろんのこと、多数の日本語の専門家や詩人たちが関与している。そのため、美しい日本語を保ちつつも、原典に忠実であるという本質を失っていない。引照・注付きなので、原語の意味も分かるようになっていて、

新共同訳が出版された折に、口語訳聖書の詩篇二三篇にあった「緑の牧場」や「いこいのみざわ」などの言葉から命名された緑幼稚園やみざわ教会が、新共同訳ではその名前の基になった言葉が消えていたため、悲鳴をあげていたのをよく覚えていて、今回の聖書協会共同訳では、そうした美しい言葉が「緑の野」「憩いの汀」として復活しているのを見て、嬉しくなったのが正直な感想である。詩編全体が、朗読する際に、日本語としてのリズムを回復させているのも、今度の共同訳の大きな特徴と言える。

コヘレトの言葉三章一節から二節までの訳も、新共同訳では「……時」とされていたが、「時がある」と言葉が省略されていないので、読みやすく、極めて素晴らしい日本語になっている。

## 「聖書 聖書協会共同訳」 完成に寄せる



岡田武夫

おかだ たけお／  
カトリック東京教区名誉大司教、  
カトリック本郷教会協力司祭

八年もの歳月をかけての大事業の完成に感謝と祝意を表明します。わたくしも外部モニターとして参加しました。いつも締め切りに追われながら必死で回答したことが懐かしく思い出されます。翻訳担当ではありませんでしたがギリシア・ヘブライ語の知識の必要を痛感しました。そしてこの仕事は自分のためにもなったと喜んでいきます。この事業の趣旨と経緯については、二冊の冊子「聖書 聖書協会共同訳 特徴と実例」「聖書 聖書協会共同訳について」によって説明されています。ご覧いただくと非常に勉強になります。あらためて聖書の翻訳という難事業のご苦労が伝わってきます。

新しい聖書の特徴は「スコポス理論」にあります。これは「礼拝で朗読される聖書を目的（スコポス）にしている」という理論であると丁寧に説明されています。礼拝で朗読されるのに適した聖書翻訳を目指して、と理解されます。

聖書は本来礼拝で使用されるべきものであります。イエスもナザレの会堂でイザヤ書の巻物を手にして朗読したと思われれます。

例えば八節では新共同訳で「愛する時、憎む時 戦いの時、平和の時」となっていたのが、新しい聖書では「愛するに時があり、憎むに時がある。戦いの時があり、平和の時がある」となっている。また一一節では新共同訳の「神はすべてを時宜にかなうように造り、また、永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終りまで見極めることは許されていない」が、新しい訳では「神はすべてを時に適って麗しく造り、永遠を人の心に与えた。だが、神の行った業を人は初めから終りまで見極めることはできない」となっている。日本語としての美しさやリズムが、残されていると言える。筆者は箴言三二章一〇節から三二節の訳からもまた、新共同訳では味わうことがなかったほどの感銘を受けた。それを紹介して、本稿を閉じることにしたい。

「有能な妻を見いだすのは誰か  
彼女は真珠よりもはるかに価値がある。  
夫は心から彼女を信頼し  
儲けに不足することはない。」

彼女は生涯にわたって

夫に幸いをもたらし、災いをもたらすことはない。  
羊毛と亜麻を求め 手ずから喜んで仕立て上げる。  
商人の船のように 遠くから食物を運んで来る。  
彼女は夜明け前に起き出して一家の食事を整え  
働く若い女たちに指図を与える。  
よく思い巡らしたうえで畑を購入し  
手ずから得たもうけの果実でぶどう畑を設ける。  
力強く腰に帯をし 腕に力を入れる。  
取り引きが好調であることを確かめ  
灯は夜も消えることがない。

子らは立ち上がって彼女を祝し  
夫も彼女をたたえて言う。

『有能な働きをなす女は多いが  
あなたはそのすべてにまさっている。』  
あてやかさは偽り、美しさは空しい。  
主を畏れる彼女こそ、誇ることができる。  
彼女の手の実りを彼女に与え  
その働きを城門でたたえよ。』  
(箴言三二・一〇―一八、二八―三二)

礼拝の時には聖書の朗読に心を集中しなければなりません。そのためにはまず聖堂の構造、装置が適切でなければなりません。何より朗読の仕方が重要です。わたしはミサを司式していますが、聴いていて、「よく心に響きよく分かる朗読」にはあまりお目にかかりません。これは読み方の問題ですが、テキスト自身の問題でもあります。聖書朗読のテキストが耳で聴いただけではよく分からないような表現になっている場合が少なくはないのです。そのため礼拝のために冊子が使用され、そこに朗読聖書が掲載される場合が多いと思います。冊子は、会衆の聖書理解のために有益ですが、会衆の「聴くという努力」を疎かにする結果をもたらすことになりかねません。朗読は耳で聴いて分かるものでなければならぬし、会衆は「聴くという努力」に専念して欲しいと思います。

今回の聖書が「礼拝にふさわしい聖書」と謳っていることは大いに結構なことです。その所期の目的が適えられることを期待しています。この目的がどのくらい適えられるかは、実際に

試してみないと結論が出ないでしょう。この機会に礼拝（典礼）の在り方についても、各教会が協力して改善を図るべきだと思います。ところで、論争を呼んだ訳語の一つが「ツアラアト」であります。これは「規定の病」に落ち着きました。その経緯を説明する文書を頂戴して検討の苦労の様子が伝わってきました。「重い皮膚病」が不適切ならどのような表現がよいか？ 多大な議論の結果が「規定の病」であります。「規定の病」では耳に聴いただけでは、一般の人には分かり難いかもしれませんが、さいわい巻末の用語解説「規定の病」に簡潔な説明がありますのでそれを活用ください。

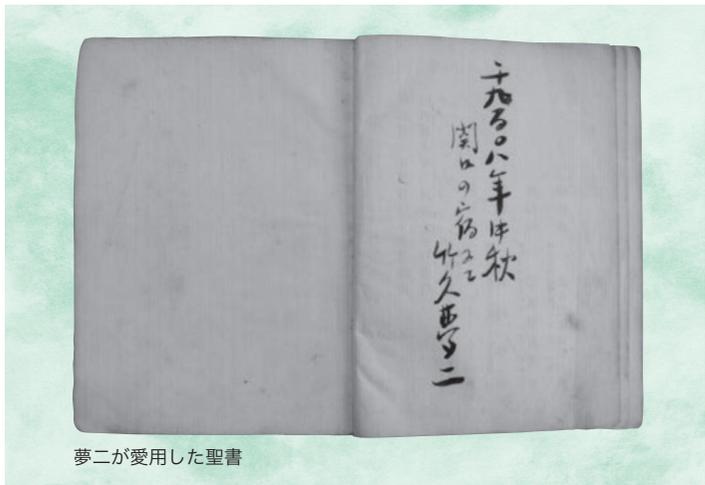
なお、この巻末の用語解説は非常に有益です。非常に重要な用語が簡潔に説明されています。他の用語についても是非参照頂くようお願いいたします。

童心のみなもと

## 竹久夢二と聖書

鈴木範久

すずきののりひさ 立教大学名誉教授



夢二が愛用した聖書

『夢二画集 旅の巻』（洛陽堂、一九一〇）に次の文章が記されている。

赤い夕日が北国の海の果に落ちむとして名残りの光を白山一帯の山脈へ投げると、雪は薄紫の反射を森に、街に、流に、われ等の横顔に、練ひろげた聖書の上に落して、多感の遊子に『終の日』を思はしめる。

この文章に接してまもなく、夢二の持ち歩いた聖書を求める私の日々が始まった。今から半世紀も昔のことである。

## 少年の夢

夢二は一八八四（明治一七）年、岡山県に生まれた。今に残る生家では夢二が子供時代に書いたという落書を見た記憶がある。

夢二は神戸中学校に入学するが中退、一九〇一（明治三四）年、家出して上京、早稲

田実業学校に入学した。夢二自身の筆によ

ると「中学を中途でよして、東京へ出たのは十八の夏だった。内村鑑三氏と安部磯雄氏の演説を聞いて、どうしたものかお金持ちになつて、天才の貧民教育の学校を建てるつもり」との志望を抱いたという（私が歩いて来た道「中学生」八・一、一九二三年一月）。

夢二が聞いたという講演は、一九〇一年一月一日、東京基督教青年会館で開催された鉍毒問題演説会とみてよい。

## たまぎとの生活

内村鑑三や安部磯雄をはじめ、足尾鉍山の鉍毒問題反対運動家のなかにはキリスト教徒が少なくなかったが、夢二のキリスト教への接近は、一九〇七年の信徒岸たまき（他万喜）との結婚が大きい。旅先からた

まきに宛てた手紙には「バイブルをよむである、ルカ伝をやつてある」（一九一〇年五月）

とか、「キリストはあらゆるものに侮辱されたけれど、あらゆるものを愛してゐた」（一九二二年四月）という文面がみられる（『夢二書簡 上』長田幹雄、一九九二）。

当時の日記にも「隣人を愛せよ」、「明日のことを思煩ふことなかれ」、「今日のこと今日は今日にて足れり」（長田編『夢二日記 上』筑摩書房、一九八七）との聖句が随所に記されている。

## 夢二の聖書を求めて

夢二は聖書を常に身近に置いて親しんでいた。しかし、その聖書の所在はしばらくわからなかった。思い切つて夢二研究の第一人者であり岩波書店の専務も勤めた長田幹雄氏に尋ねることにした。長田氏は若きころ内村鑑三聖書研究会の会員でもあったから、夢二の聖書に関しては当然関心が深いと思つたからである。今から三六年前だった。



若き日の夢二

やがて長田氏から返つてきた長文の手紙を見て驚いた。それには長田氏が雑誌に寄稿した「夢二の手拓本……」という一文のコピーが同封され、読むと「わたしのたからものの中に、夢二の手拓本が二冊ある。その一は、旧新約聖書である。」と記されているではないか。その記事によると、夢二愛用の聖書は一九〇四（明治三七）年三月三十一日発行の『旧新約聖書』であり、奥付裏には「千九百〇八年中秋／関口の宿にて／竹久夢二」との署名がある。関口は小石川区（当時）の地名である。長田氏は夢二が朱線を引いたとみられる箴言の場所二か所も紹介していた。

## 伊香保へ

ところが、その長田氏宅を訪問して夢二の聖書を拝見する機会を、先に延ばしているうちに機を失い、いつの間にか何十年も歳月が流れてしまった。この間には『日本キリスト教歴史大事典』（教文館、一九八八）に「竹久夢二」の項目を執筆したただけにとどまった。そのうちに残念ながら長田氏も世を去られた話を聞く結果にもなった。

そこへ最近になり伊香保にある夢二の記念館に長田氏の所蔵品が収蔵されたという話が伝えられた。竹久夢二伊香保記念館と

# 聖書事業懇談会

参加  
無料

事前登録制

## 対談

### 『聖書協会共同訳・詩文の魅力を探る!』

#### Part1

—ヨブ記、詩編、箴言を中心として—

#### Part2

—詩編、コヘレトの言葉、雅歌を中心として—

2018年12月『聖書 聖書協会共同訳』が発行されました。これを記念して、今回の翻訳事業で尽力されたお二人の対談を開催いたします。

プロテスタント神学者で同志社大学神学部教授、牧師でもある石川氏は旧約担当として、カトリック信徒で歌人の春日氏は日本語担当として、ともに翻訳に携わり、さらに詩書担当の編集委員としても責任を負われました。

この度、お二人の対談を通して、聖書の詩文の翻訳がどのようにできあがっていったか、従来訳からどのように変化したかなど、『聖書協会共同訳』の魅力について存分に語っていただきます。



#### 石川 立氏

同志社大学神学部教授、  
新翻訳事業原語担当翻訳者、  
編集委員

1953年愛知県生まれ。東京大学文学部卒業、同志社大学神学研究科博士前期課程修了。日本基督教団倉敷教会副牧師を経て、ミュンヘン大学神学研究科博士課程修了。神学博士(Dr.theol.)。専門は、旧約・新約聖書解釈、聖書神学。訳書に『エレミヤ書(下)』(ATD・NTD 聖書註解刊行会、2005年)など、共著に『聖書 語りの風景—創世記とマタイ福音書をひらいて—』(キリスト新聞社、2006年)などがある。



#### 春日 いづみ氏

歌人、「水鏡」副代表、選者、  
編集委員、新翻訳事業日本語担当  
翻訳者、編集委員

東京生まれ。日本女子大学卒業、現在「水鏡」副代表、選者、編集委員。歌集に『問答集』(2005年 角川書店 第12回日本歌人クラブ新人賞)、『アダムの肌色』(2009年 角川書店)、『春日いづみ歌集』(2013年 砂子屋書房)、『八月の耳』(2014年 ながらみ書房)、『塩の行進』(2018年 現代短歌社)がある。現代歌人協会、日本歌人クラブ中央幹事、日本文芸家協会、日本ペンクラブ各会員。

#### Part1 大阪

【日時】  
2019年 5月 11日 (土)  
13:30 ~ 15:30 (開場 13:00)

【会場】サクラ ファミリア  
カトリック大阪大司教区カトリックセンター (大阪梅田教会) 聖堂 (3F)  
▶梅田・大阪駅徒歩15分(定員250名:申込先着順)

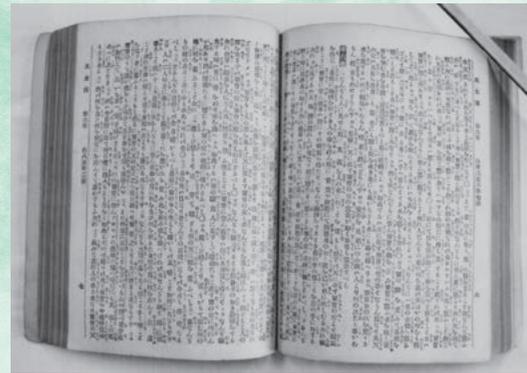
#### Part2 東京

【日時】  
2019年 5月 24日 (金)  
15:00 ~ 17:00 (開場 14:30)

【会場】銀座・教文館 9F  
ウェンライトホール  
▶東京メトロ銀座駅徒歩3分(定員120名:申込先着順)

主催 JBS 一般財団法人  
日本聖書協会 広報部  
〒104-0061 東京都中央区銀座 4-5-1

TEL.03-3567-1988 FAX.03-3567-4436  
URL: http://www.bible.or.jp  
E-mail: info@bible.or.jp



マタイ伝6章の朱線部分

#### 夢二の聖書

長田氏は『旧新約聖書』と記していたが、  
内題は『旧新約全書』である。前述したよ

いえば、開館(一九八一年)まもないころに一度訪ねた所である。さっそく伊香保記念館に問い合わせたところ、故長田氏の所蔵品のなかに確かに夢二の聖書があるという。ただし聖書の傷みはかなりはげしいとの話であった。こうして二〇一八年秋、さっそく同館を訪ね、ようやく夢二の聖書と対面することができた。

うに旅にも持ち歩いたため表紙などの破損がかなり進み、ページを繰ることもできない状態だった。したがって、夢二による朱線の書き込み部分の撮影は館側に依頼することにした。

その朱線の文章は、すでに長田氏により箴言の一部だけは紹介済みである。ほかに旧約聖書では、イザヤ書の箇所もあり、新約聖書もマタイ伝にあった。ここでは後者の五章四六節のみを紹介する。

爾書おのれを愛する者を愛するは何の報償かあらん税吏も然せざらん乎(五・四六)あとは六章二五―三〇節の有名な「天空の鳥」「野の百合花」のくだりである。

このような夢二と聖書との深い関係は、その描く絵画や文章への反映を認めずにはいられない。

たとえば「あおり」と題した作品は、聖書を膝にして顔を手で覆った女性の絵である。しかし、それはどうみてもただ祈るだけでなく悲しみをこらえた姿である。あるいは「越後獅子」、「巡礼娘」などの絵は、題名だけでも夢二の視線が浮かんでこよう。戦争で夫を失って顔を伏せた妻の絵もある。婦人之友社発行の『子供之友』にはたびたび見開き絵を寄せていた。

なお、夢二は一九三二年のヨーロッパ旅



『子供之友』に掲載された「クリスマス」(婦人之友社原画集)

行の折り、ナチスに追われるユダヤ人の国外脱出にも尽力したという(藤林伸治「夢二はレジスタンスだった」、『日本経済新聞』一九八八年七月二〇日。関谷定夫「竹久夢二―精神の遍歴」、東洋書林、二〇〇〇)。  
なお今回の伊香保記念館訪問において、長田氏の遺族から新たにもう一冊夢二の聖書が同館に託されたことも判明した。それは一九一四年一月八日発行の『旧新約聖書』である。  
最後に同館の木暮享館長と森菜摘学芸員の御協力に心から感謝申し上げます。

# 痛みを通して与えられた賛美

Migiwa

エッセー

42

神様はなんて不思議なことをなさる方だろう。人前に立つのが怖くて、不登校、引きこもりだったわたしが、音楽伝道の働きに携わってから十数年。全国を訪れ、教会や学校、被災地など多くの方々の前で歌ったり話したりしているなんて。だからこそ毎回主への感謝が溢れる。

きっかけは、十代の頃に参加したアメリカへのゴスペルツアー。ゴスペルがイマイチなんなのかもわからないまま、まだ救われていなかったわたしは、アメリカの音楽への憧れが強く、どんな形でもいいから渡米したかった。ナッシュビルのダウンタウンには多くのゴスペルアーティスト達が集結し、至る所でコンサートが繰り広げられていた。

圧倒され続けたわたしは、そこでひとつの幻を見ることになる。一般のコンサートとは明らかな違いが彼らにはあった。それは自分をいかに魅せようかということではなく、救い主なる神へ捧げる美しい喜びの歌だった。その場にいたわたしは、こうなりた！ではなく、「自分はこうなるんだな」と、何の保証もないのに確信した瞬間だった。帰国してすぐ、恵みにより洗礼を受け、わたしの音楽伝道活動はスタート。出会いに恵まれ人前で歌う機会が与えられ、ほどなくCD制作のお話を頂き、順調な滑り出しだった。コンサートのご依頼も頂くようになり、右も左もわからないまま教会などで歌い始め、だんだんと忙しくなっていた。

そして活動を始めて七年目のこと、わたしは突然の病によって声を失った。ストレスからくる喉頭肉芽腫という病で、わたしは一年間活動を休止せざるをえなくなった。わたしは絶望から、以前の引きこもりだった自分に戻ってしまった。でも実を言うと、こうなることが心のどこかでわかっていたのだ。



チャペルコンサートにて

その頃のわたしはひどかった。傲慢と罪の奴隷になって、悔い改めることもせず、それを小さなハンカチで隠すようにして表の顔で賛美を続けていた。何で最低な賛美者だっただろう。声が出なくなったり、神様がストップをかけてくれたことがはつきりとわかった。言い訳は何もできなかった。そしてどこかほっとしたような、そんな気さえした。

歌えない一年は多くのことを学ぶときとなった。自分の罪、イエスの十字架、一方的な恵み、贖いという大きな愛。罪を心から悔い改め、主にすべてを捧げて生きていきますと祈った後から、どんどん声が癒やされていった。一年後、主の赦しによってステージに戻ることができ、人生の再スタートを果たした。声帯の腫瘍はきれいになくなり、病気の後の方が良い声になったねなんて度々言われることもまた神様の不思議な業。

今となっては一回のコンサートは命がけ。その一度きりしか福音を聴くチャンスがない方もいる。いつもそのときの最高のものを捧げたいと備え祈る。歌と証しの構成、そして霊的流れを壊さないように、毎回これでもかというほど選曲に悩む。コンサート前に言いようもない大きな恐怖に襲われることもしばしばある。自分の働きの重要さを客観的に感じ、震え上がってしまうのだ。

わたしは弱い。だから主が強い。いつも感じるのは、自分の力では何もできないというところ。自分の力で続けていたらとつくに潰れていただろう。へりくだり神様の御力が働くとき、わたしではない不思議な力が働くのがはつきりわかる。被災地で涙も枯れ果てた方の前でも、二千人の未信者の学生の前でも、数人しかいない小さな場所でも、わたしではない、主が歌わせてくださる。

ビジョンは何かと聞かれることがある。正直言って、自分がこうなりたいというものはない。クリスチャンの少ないこの日本に生まれ、音楽伝道の賜物を与えられたのだから、それを通してこの国に救いを広めるためのお手伝いを続けていきたい。そしてこの日本にリバイバルが起こることだけが、活動を始めてから今も変わらない、わたしの唯一のビジョンです、と答えている。



Migiwa (みぎわ)  
ゴスペル・シンガーソングライター

## KBH（クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウス）情報

KBH事務局長 角田正治

一般社団法人クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウスは、その定款で「キリスト教各教派のキリスト者が、様々な違いを尊重しつつ協働すること及び聖書の紹介・普及を推進することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。(1) 聖書及び関連文書等の展示及び研修・啓発・文化活動 (2) キリスト者相互の交わりを深め、一致を目指すクリスチャンセンターとしての事業 (3) 当法人の維持運営に必要とされる事業」とうたわれています。理事会の下にある9つの委員会、即ち、展示委員会、セミナー委員会、キリスト教の世界委員会、聖書リレー朗読会委員会、イベント委員会、広報委員会、財務委員会、財政委員会とKBH友の会委員会ごとに、あるいは複数の委員会が協力して様々な事業が計画され、実施されています。2019年度実施が計画されている事業の一部を紹介いたします。

### 聖書セミナー

KBHの聖書セミナーは、一般財団法人日本聖書協会の主催で、セミナー委員会が受託し、少なくとも年4回実施しています。新しく刊行された「聖書協会共同訳」聖書を記念するテーマも選ばれる予定となっています。1回は基本的に4講からなり、受講料は500円/講です。



### KBH「聖書学術員」養成講座

昨年度までに、2課程の講座が完了し、認定試験が実施されましたが、受講者の割に受験者が少なく、認定者も少なかったため、もう一度、第1課程の講義を計画しています。「聖書の原本と写本」「英訳聖書の歴史」「キリストン時代の聖書」「幕末から明治時代の和訳聖書」「大正から昭和時代の和訳聖書」「現代の和訳聖書」が4月から毎月講じられ、10月には、KBHの私的な制度ではありますが「聖書学術員」の初級認定試験が実施されます。受講料は500円/講です。

クリスチャンセンター 神戸バイブル・ハウス (KBH) 〒651-0086 神戸市中央区磯上通4-1-12

### キリスト教の世界セミナー

エキュメニカルな団体であるKBHでは、広くキリスト教世界を知り、学び理解を深めるために、各教派の方々から年間を通して、概略共通の課題で語っていただくセミナーを開催しています。ほぼ、毎月第1火曜日開催で、受講料は600円/講 (KBH友の会会員は500円) です。

### 聖書リレー朗読会

聖書リレー朗読会は、今のKBH設立時に開催されて以来、2年ごとに開催されています。毎年の開催を望む声も大きいのですが、関係するスタッフの負担や、様々な事業との兼ね合いを勘案すると2年に一度が、許容できる範囲ということになるのでしょうか。創世記からヨハネの黙示録まで全66巻を「すべての世代で聖書を読みつなぐ」のテーマのもとに、約100時間、延べ約4~500名で様々な年代、教派や国籍の方々が、様々な聖書や言語で読み繋がります。2019年度は、開催の年に当たっており、ミッション系の学生の参加も念頭に置き、7月8日~18日の間で行うことにしました。参加費は必要ありませんが、基本4人一組の事前登録が必要です。



### 各種イベント

「オカリナで賛美を！」を2019年6月中旬開催します。その他、長崎「潜伏キリシタン」の展示講演会、キリスト教的美術品の展示会、コンサートの実施が計画されています。

「写本聖書の集い」は、毎月第3火曜日午後開催されています。聖書の写本で心を落ち着かせ、講和と分かち合いで、一時を過ごします。会費500円/回。



### KBHニュースレター

2015年の12月号から始まった「会員教会を訪ねて」の教会紹介も、2019年2月号で20教会に達しました。エキュメニカルな団体であるKBHの会員が、少しでも他の教派の教会に興味を持ち、理解を深めて行く一助になればと今後も続けて行く計画です。



Tel/Fax 078-252-1966 kobe-bible-house@maia.eonet.ne.jp <http://kbh-bible.jp/>

一般財団法人 日本聖書協会主催

# 第4回 聖書動画 コンテスト

## 2019

変わらない言葉を 変わりゆく世界に

応募受付中！ 締切：2019年10月31日（木）

「変わらない言葉を 変わりゆく世界に」をテーマに、オリジナルの動画作品を募集いたします。  
ジャンルは問いません。作品の長さに応じて1ミニッツ、3ミニッツの2部門を設けます。



### 1ミニッツ部門

総尺60秒以内(エンドクレジットを含む、本編前後に5秒間の黒背景を入れること)  
内容、ジャンルは自由(タイトルまたは関連する聖書の箇所を明示のこと)



### 3ミニッツ部門

総尺3分以内(エンドクレジットを含む、本編前後に5秒間の黒背景を入れること)  
内容、ジャンルは自由(タイトルまたは関連する聖書の箇所を明示のこと)

賞

両部門全体の中から決定します。



#### 最優秀賞

1作品  
賞金20万円  
副賞/中型聖書  
聖書協会共同訳(引照・注なし)  
記念箔押し



優秀賞

3作品

賞金5万円

副賞/小型聖書 聖書協会共同訳(引照・注なし) 記念箔押し



作品賞

5作品

賞金2万円

副賞/小型聖書 聖書協会共同訳(引照・注なし) 記念箔押し



奨励賞

5~10作品

賞品図書カード5千円分

副賞/小型聖書 聖書協会共同訳(引照・注なし) 記念箔押し

#### ■応募方法

特設サイト応募フォームから必要事項を記入してお送りください。応募作品はオリジナルで未発表の作品に限ります。作品データは、DVD-Rメディアに収録し、郵送か宅配便発送(10月31日当日受付/消印有効)、またはFTPサービスを用いて広報部 (info@bible.or.jp) へてお送りください。

#### ■選考及び発表

12月までに社内審査の後、審査員(協会外3+協会内1名)による賞の選考を行います。受賞作品の制作者(または応募者)1名を、「聖書動画コンテスト・アワード」2020年1月13日(成人の日)東京にて開催予定にご招待(協会規定による往復交通費1名分支給)し、当日発表、表彰いたします。コンテスト・アワードには事前お申込みをいただければどなたでもご参加いただけます。

●応募・問い合わせ先 一般財団法人 日本聖書協会 広報部

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 Tel.03-3567-1988 Fax.03-3567-4436

E-mail : info@bible.or.jp 特設サイト [http://www.bible.or.jp/movie\\_contest/](http://www.bible.or.jp/movie_contest/)

特設サイトのQRコード

過去の入選作、ノミネート作品は特設サイトで視聴できます。



## 点字聖書(聖書協会共同訳版)製作支援 新翻訳事業献金 皆さまからのご支援を求めています



●点字聖書支援 募金目標額：1,000万円

聖書協会共同訳版の新しい点字聖書は、全40巻(初版100部)を4,000円(1冊あたり100円)で頒布する場合、製作費用に初版のみ全巻40冊で約10万円かかり、100部製作する場合、全体で約1,000万円が必要となります。皆さまからのご支援を切に求めています。

●新翻訳事業献金

2018年12月発刊。新しい日本語聖書の製作・頒布のために

#### ご献金の方法

●郵便振替 00160-2-18410

ゆうちょ銀行 ○一九支店(当座) 0018410  
綴じ込みの振替用紙もご利用ください

●ホームページより

●VISA、MasterCard、Dinersのクレジットカードでもご献金いただけます。

聖書 募金 検索

●銀行振込

三井住友銀行 京橋支店(普通) 6552744

※銀行振込は送金される前に、お手数ですが、メール、お電話等で「点字聖書献金」、「新翻訳事業献金」のいずれかである旨、お知らせくださいますようお願いいたします。

口座名：(一財)日本聖書協会



聖書協会を継続してお支えいただける後援会にご入会ください！

年会費は5つのタイプからお選びいただけます。

一般会員 1口/1,000円 1口/3,000円 1口/5,000円 1口/10,000円 1口/50,000円

★生涯後援会員 1口50万円からお受けいたします。

終身会員

※初回のご登録時に一括で会費をお預かりします。毎年の年会費をご納入いただくことなく、一生涯、会員資格と特典をお受けいただける終身制度です。生涯会員としてのご登録時に、「記念聖書」をお贈りいたします。

ご入会いただいた方には、会員証と会員バッジを進呈し、年4回発行のニュースレター「からし種」をお届けして、聖書普及の働きを詳しくご報告いたします。

後援会入会申し込みは、綴じ込みハガキをご利用ください。 ホームページでも「入会申し込み」をお受けしています。

## 「ライフ・メモリアル献金」をお勧めいたします

### 遺贈献金

遺言による遺産の贈与、生前贈与、または相続された遺産の贈与をお考えの時に。

### 記念献金

※1口10万円から

信仰生活の節目、結婚・銀婚を迎えた時、定年退職など人生における節目に。

※遺贈献金をお考えの方は、どうぞ募金担当まで、ご相談、お問い合わせください。

ライフ・メモリアル献金をお申し込みの方には、日本聖書協会より「記念聖書」をお贈りいたします。

★募金部へのお問い合わせ、後援会ご入会のお申し込み TEL : 03-3567-1980 E-mail : fund-raising@bible.or.jp

Be a member and support the Bible Work



この印刷物は適切に管理された森林で生産された木材を原料に含む「FSC® 認証紙」を使用しています。

編集後記  
平成の三〇年間、日本はバブル崩壊、東西での巨大地震、と相次ぐ試練に見舞われました。さらには長く続く経済不況、就職氷河期、それに伴って派遣労働が固定化しました。少子高齢化、人口減少も我が国の将来に暗い影を落としています。他方、世界情勢においても、国際協調は後退し、ナシヨナリズムが台頭しています。同時にテロや核兵器拡散、移民排斥など、難しい問題が折り重なっています。  
アモス書には「悟りある者はこの時代に沈黙する。まことに、これは悪い時代だ。」と嘆きに満ちた預言者の言葉が綴られます。  
しかし、パウロは「時をよく用いなさい。今は悪い時代だからです。」と、開き直るのように、エフェソの信徒らに賢くふるまうよう説いています。  
二月、ついに「聖書協会共同訳」が発行されました。不安に満ちたこの時代に生まれた意味を思いつつ、まだ神を知らない方々に、希望の光としてこの聖書が届きますように願っています。